

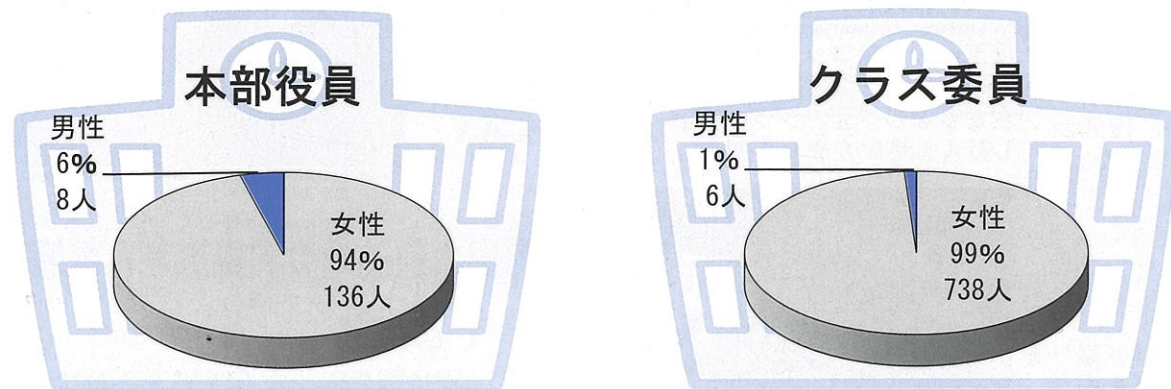
ハーブティ

～女と男をかんがえる～ ハーブティ:「ハーブ (herb)」は薬草のことで、茎や葉を生あるいは乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女と男も互いにバランスのとれたよい関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いがこめられています。

昨今は、子育てに関する話題あるいは課題が、以前にも増して多く語られるようになりましなね。子育ての中でも、とりわけ義務教育時代に、親がどう学校と関わっていくか？ は、とても重要なテーマではないでしょうか。

そこで今回は、父親、母親のPTA 活動への参画状況などについて、取り上げてみたいと思います。

I 市内公立小中学校におけるPTA 役員男女比率 (小中全10校)



(各校PTA 会長さんからの聞き取りによる。)

II 各校PTA会長さんからのご意見・ご感想 (主なものを抽出抜粋)

- * PTAに関しての会員の温度差が大きい。
- * 仕事との両立が非常にたいへん。
- * 夕方以降の会合があり、出席することが負担になっており、なかなか出席できない実情がある。
- * 文章作成、資料作成など、家に持ち帰っての仕事が多く、それにかかる拘束時間が結構あるため、家族との時間、自分の時間を取れない日も多い。
- * 共働きのため、家事がおろそかになってしまう。
- * 家事、仕事と両立させるためという『美しいボランティア精神』だけでは、うまくいかない。
- * 家族の理解と協力が不可欠。
- * 仕事と家事を両立しつつ行うためには、事前の段取り (スケジュール調整) や準備がたいへんである。



聞き取り調査にご協力くださったPTA 会長さん



聞き取り調査にご協力くださったPTA 会長さん

- * 毎年のように役員を選任が大変で、引き受けてくれる人がおらず、決めるのが難しい。
- * 熱心に活動しようとしてくれる人たちへの偏見がある。
- * いつも、悩み考えている。我が子のことより学校のことをいつも優先して考えている。
- * PTAに、もっと多様性を取り入れてほしい。特にお父様方をお願いしたい。



III 今回の聞き取り調査から見てきたもの

PTA活動への参加率は、母親が多数を占めているだろうという予測はありましたが、実際に統計を取ってみた結果からは、想像以上に父親 (男性) の参加率が少ない実態が顕著でした。

共働き世帯が増え、また介護という課題にも直面している現実がある現代においては、女性にかかる負担は増加する一方です。

私達は、今一度、しっかり考え直していく必要があるのかもしれませんが。

ただ、今回の聞き取りの中で、PTA 活動をポジティブに捉えていらっしゃるご意見があったことも確かです。

「学校へ足を運ぶことにより、学校の状況や子ども達の姿 (家にいないときの姿) を垣間見ることができた。」「学年を超えた親同士の交流範囲がひろがり、すてきなつながりをいただいた。」などなどです。また、委員にはなっていないくとも、ボランティアという形で学校活動にご協力、ご尽力されているお父さんがたが、たくさんいらっしゃることも忘れてはいけないことだと、私たちは実感しました。



IV 結びに

子どもの成長。かけがえのないものです。

大切なもの。ぜひ父親、母親共に楽しくかかわっていききたいものですね。

現状を改善していくためには、『意識を変える』ことも大切ですが、それだけでは抜本的な解決には繋がらない可能性もありますし、時間も要することでしょう。

よりPTA活動が身近となり、活性化するためにも、家庭、地域そして行政が協働し、よりよい仕組みが実現できたら、素晴らしいことではないでしょうか。

いつか白岡市の取組みが、全県のモデルとなる日がやってくる日を願っています。

文末になりましたが、ご多用の中、こころよくご協力くださった各校PTA会長さんに、心からお礼申し上げます。